

第2回シンポジウム

小中高の体系的指導で育てる

統計的問題解決力

～PPDACの授業を児童生徒とどうつくるか～

2019年3月21日（木・祝）

9:30 ~ 12:00

（受付開始 9:00～）

参加費 無料

お茶の水女子大学 本館3階 306教室

プログラム

開会のご挨拶

真島 秀行（お茶の水女子大学 名誉教授）

イベントの趣旨説明

加々美 勝久（お茶の水女子大学 准教授）

附属小学校での実践事例

岡田 紘子（お茶の水女子大学附属小学校 教諭）

附属中学校での実践事例

大塚 みずほ（お茶の水女子大学附属中学校 教諭）

附属高校での実践事例

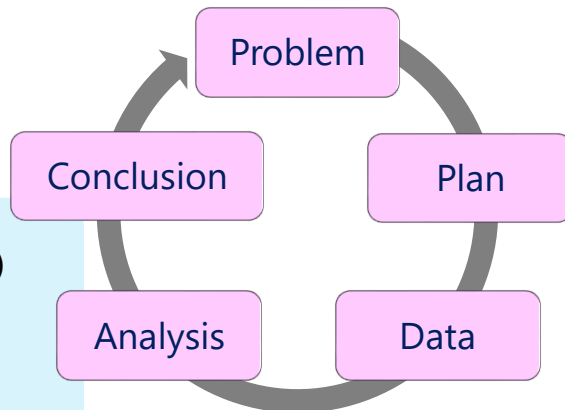
三橋 一行（お茶の水女子大学附属高等学校 教諭）

講評と講演

青山 和裕（愛知教育大学 准教授）

閉会のご挨拶

吉田 裕亮（お茶の水女子大学 教授）



講評と講演 「AI時代の学校で、統計的探究プロセス PPDACをどう具体化するか」

青山 和裕氏（愛知教育大学 准教授）

- ・ 国立教育政策研究所 中学校学習指導要領実施状況調査結果分析委員会 委員
- ・ 総務省統計局 統計教育の拡充に関する懇談会 委員
- ・ 文部科学省 小学校学習指導要領解説算数科編(平成29年度版)作成協力委員会 委員
- ・ 『楽しく学ぶ！中学数学の統計「データの活用」(編著), 東京図書, 2018年など

申し込み

<https://crdeg.cf.ocha.ac.jp/ocha2/Plone/iehd/20190321fuzoku>

